

平成 28 年 6 月 30 日（木）港文化小劇場にて、港区の医療機関をはじめとした、在宅医療・介護連携に関わる多職種の方を対象に、港区多職種研修会を実施いたしました。

当日はたくさんの方の関係者の方にご参加いただき、港区の在宅医療・介護連携の推進に大きな一歩となりました。

今後は、市民の方にも「在宅医療・介護の連携」を知っていただけるよう、イベントの開催などを検討する予定です。

研修会の概要

1 在宅医療・介護連携における情報共有の重要性について

～はち丸ネットワークの活用例～

医療法人一色診療所 院長の坂野 哲哉先生より、在宅療養者に安定した在宅サービスを提供するために必要な「多職種の情報共有体制」を構築するため、そのツールである「はち丸ネットワーク」について、具体的なケースを交え、分かりやすく説明いただきました。

2 港区在宅医療・介護連携支援センターの取り組み

センター職員の市橋 玲子様より、平成 28 年 4 月のセンター開所からの取り組みや相談事例を説明いただきました。

また、研修会に参加の多職種の方に対して、はち丸ネットワークの登録手順を説明し、積極的に登録してもらうよう依頼をされました。

※ 研修会の具体的な内容は、当日の資料と併せて後日、ホームページに掲載いたします。

(参考)

